

2021年3月期 第3四半期決算報告
(2020年4月1日～2020年12月31日)

- **第3四半期（10-12月期）は、自動車用ガラス事業が売上回復をけん引し、売上高がほぼ前年並（△1%）に回復。コスト削減効果もあり営業利益は前年比増益（+52%）、当期利益も黒字転換**
 - 自動車用ガラスは世界各地の需要回復により増収(+3%)増益
 - 建築用ガラスは前年比減収となるも、欧州で前年比増収（+7%）増益、太陽電池パネル用ガラスの堅調もあり、前年レベルの利益確保
 - 高機能ガラスは前年並み売上・利益へ回復。在宅勤務需要を受けプリンター用レンズ出荷数量が増加
- **業績改善を踏まえ、通期の売上・営業利益予想を再度上方修正**
- **世界で2000人規模の人員削減を含む事業構造改革は計画通り進捗**

1. 第3四半期決算

- 第1四半期に新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による需要急減の影響を受け、累計では減収減益となるも、全社的なコストダウン努力と第2・第3四半期の需要回復により業績は改善基調。累計の営業利益は80億円と黒字が拡大
- 第3四半期（10-12月期）では営業利益は48億円と前年同期比増益（+17億円、+52%）。親会社所有者に帰属する当期利益も前年同期比増益（+41億円）の34億円となり、黒字回復
- 損益改善に加え、投資抑制、運転資本改善活動（主に在庫削減）が奏功し、第3四半期（10-12月期）のフリー・キャッシュ・フローは56億円と、第2四半期に続きプラスを維持。12月末の手元流動性は現預金残465億円、未使用融資枠残844億円と、9月末水準よりも改善
- 自己資本は、第3四半期（10-12月期）の当期利益計上と為替影響等により9月末対比で改善。自己資本比率は7.9%（9月末は6.4%）に上昇

<連結損益計算書>

(億円)	10-12月期（3ヶ月）			累計（9ヶ月）		
	2020年3月期	2021年3月期	増減	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上高	1,372	1,359	△13	4,258	3,574	△684
営業利益	31	48	17	180	80	△100
営業利益率	2.3%	3.5%		4.2%	2.2%	
個別開示項目(COVID-19関連)	-	△12		-	△140	
COVID-19関連個別開示項目後営業利益（△損失）	31	36	5	180	△60	△240
個別開示項目(その他)	△22	10	32	△44	2	46
金融費用(純額)	△32	△21	11	△95	△75	20
持分法による投資損益	4	10	6	12	8	△4
税引前利益（△損失）	△19	35	54	53	△125	△178
当期利益（△損失）	△5	37	42	19	△135	△154
親会社所有者に帰属する当期利益（△損失）	△7	34	41	12	△139	△151
EBITDA	115	135	20	432	323	△109
フリー・キャッシュ・フロー	△205	56	261	△493	△286	207

	2020年3月末	2020年9月末	2020年12月末	3月末増減	9月末増減
現預金残高	436	405	465	29	60
未使用融資枠残	655	748	844	189	96
自己資本	736	488	613	△123	125
自己資本比率（%）	9.6%	6.4%	7.9%	△1.7%	1.5%

<各事業の概況（セグメント別売上高・営業利益は末尾の参考資料参照）>

建築用ガラス事業	第1四半期の需要減の影響を受け、累計では減収減益だが、第3四半期は引き続き欧州、南米を中心に需要回復が続く。太陽電池パネル用ガラスの出荷は引き続き堅調
自動車用ガラス事業	累計では減収減益だが、6月以降は徐々に需要が回復し、第3四半期では前年同期対比で増収増益に転換
高機能ガラス事業	累計では減収減益だが、第3四半期は前年並みのレベルに回復。プリンター用レンズが在宅勤務需要の拡大を受けて出荷数量増

2. 通期業績予想（上方修正）

- 第3四半期までの実績を踏まえ、前回上方修正した売上・営業利益予想をさらに上方修正
売上高 4,900 億円（前回予想比+100 億円）
COVID 関連個別開示項目後営業損失 △20 億円（前回予想比+50 億円）
- 第4四半期（1-3月期）は全体としては前年並み水準への回復を想定するが、新型コロナウイルス感染の再拡大によって自動車生産に影響する可能性あり
- 通期の最終損益予想は、今後の個別開示項目が明らかになった段階で改めて開示。資産・事業売却等により、今後発生する構造改革関連費用の影響を可能な限り軽減する方針

(億円)	2021年3月期				2020年3月期	
	Q3 4-12月期 累計実績	Q4 1-3月期 予想	通期予想 (今回)	通期予想 (前回)	Q4 1-3月期 実績	通期実績
売上高	3,574	1,330	4,900	4,800	1,304	5,562
営業利益 / (△損失)	80	40	120	90	32	212
COVID関連個別開示項目後 営業利益 / (△損失)	△60	40	△20	△70	10	190
個別開示項目（その他）	2	-	-	-	△174	△218
金融費用（純額）	△75	-	-	-	△23	△118
持分法による投資損益	8	-	-	-	△1	11
税引前利益 / (△損失)	△125	-	-	-	△188	△135
当期利益 / (△損失)	△135	-	-	-	△194	△175
親会社の所有者に帰属する 当期利益 / (△損失)	△139	-	-	-	△201	△189

3. 事業構造改革

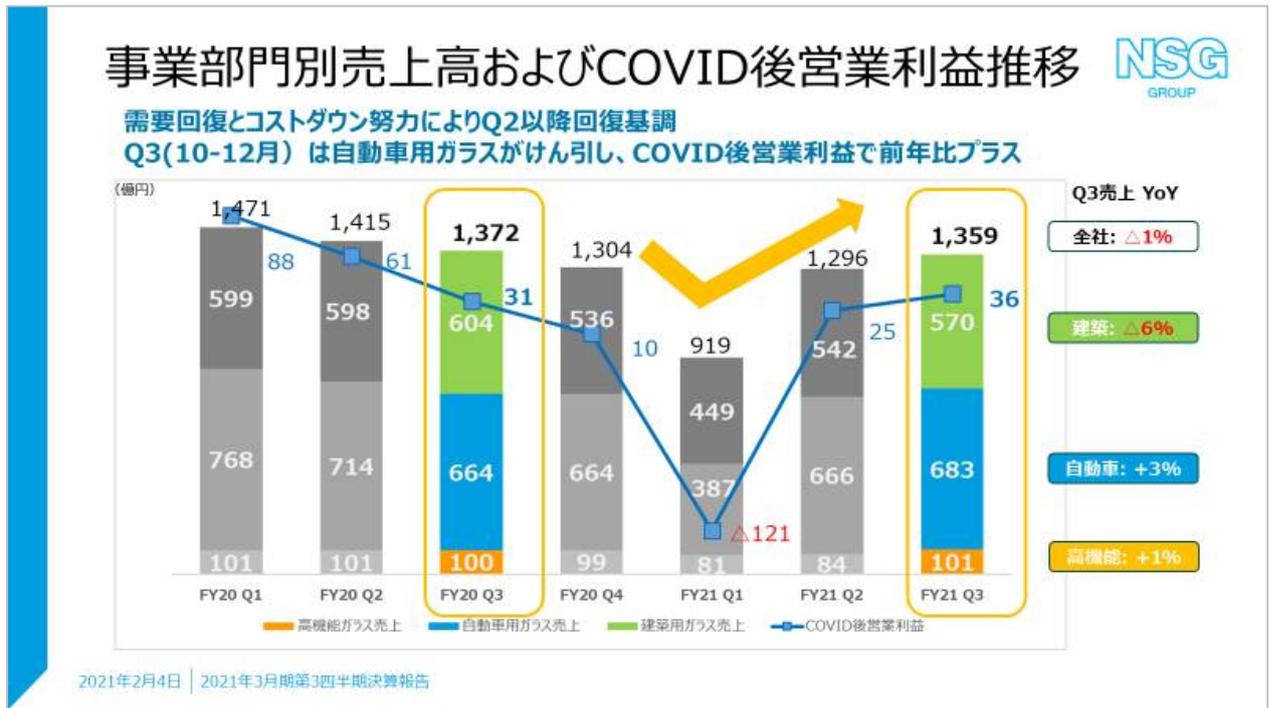
- 聖域なき改革を実行し、2022年3月期の黒字転換を目指す
- 計画通り、世界各地での合計2,000人規模の人員削減を推進中
- 全社的な固定費の大幅削減、生産・購買コスト削減も計画・実行中

お問い合わせ先（IR・広報部）

報道関係 03-5443-9477

IR関係 03-5443-0100

<参考：2021年3月期第3四半期決算説明資料より抜粋>



<参考：セグメント情報>

(億円)	2020年3月期				2021年3月期				増減			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	1,801	449	542	570	1,561	△ 150	△ 56	△ 34	△ 240
欧州	232	221	210	663	160	222	224	606	△ 72	1	14	△ 57
アジア	224	246	247	717	192	186	205	583	△ 32	△ 60	△ 42	△ 134
米州	143	131	147	421	97	134	141	372	△ 46	3	△ 6	△ 49
営業利益	57	41	42	140	27	46	42	115	△ 30	5	0	△ 25
売上高: 自動車用ガラス	768	714	664	2,146	387	666	683	1,736	△ 381	△ 48	19	△ 410
欧州	335	294	278	907	166	267	288	721	△ 169	△ 27	10	△ 186
アジア	174	172	165	511	99	159	176	434	△ 75	△ 13	11	△ 77
米州	259	248	221	728	122	240	219	581	△ 137	△ 8	△ 2	△ 147
営業利益	40	12	1	53	△ 29	5	13	△ 11	△ 69	△ 7	12	△ 64
売上高: 高機能ガラス	101	101	100	302	81	84	101	266	△ 20	△ 17	1	△ 36
欧州	17	18	16	51	13	14	19	46	△ 4	△ 4	3	△ 5
アジア	80	79	81	240	65	68	79	212	△ 15	△ 11	△ 2	△ 28
米州	4	4	3	11	3	2	3	8	△ 1	△ 2	0	△ 3
営業利益	18	17	19	54	14	11	20	45	△ 4	△ 6	1	△ 9
売上高: その他	3	2	4	9	2	4	5	11	△ 1	2	1	2
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 67	△ 18	△ 24	△ 27	△ 69	9	△ 15	4	△ 2
売上高: 合計	1,471	1,415	1,372	4,258	919	1,296	1,359	3,574	△ 552	△ 119	△ 13	△ 684
営業利益	88	61	31	180	△ 6	38	48	80	△ 94	△ 23	17	△ 100